SOAR TO THE WORLD
さあ翔びたとう 世界へ！

令和６(2024)年度入学者用

国際バカロレア(ディプロマ・プログラム)認定校
海外帰国生徒特別募集実施校
学力向上進学重点校エントリー校
東京外国語大学高大連携協定校
清泉女子大学高大連携協定校

神奈川県立
横浜国際高等学校〔単位制〕

Kanagawa Prefectural
Yokohama Senior High School of International Studies

全日制国際科

全日制国際科国際バカロレア(IB)コース

横浜国際高校のめざすもの　School Aims

教育目標
School Mission Statement

We encourage our students to become self-reliant world citizens so that they can play an active role in the future as leaders not only in Japan but also throughout the world.

世界市民として自立し、将来、日本及び国際社会におけるリーダーとして活躍する人材を育成する。

国際科

英語・第二外国語をメインとした多彩な選択科目が準備され、言語を多面的かつ集中的に学び、高度な表現力を身につけます。また物事を多角的に捉える姿勢を養い、広い視野と高いコミュニケーション力を身につけた人材の育成を目指します。

→詳細は４～７ページをご覧ください。

国際科国際バカロレア(IB)コース

日本の高校卒業資格に加え、世界で使える大学入学資格（IB ディプロマ）の取得を目指します。日本語や英語で書かれた多くの資料を読み、考え、議論やプレゼンテーションを行い思考を深めます。知識を統合し、高度な思考・判断力を用いて世界の未来に貢献できる人材の育成を目指します。

→詳細は８～10ページをご覧ください。

教育方針
Educational Policy

○国際化の進展に対応し、国際社会で広く活躍するために、他者と積極的にコミュニケーションを取ることができる人材を育成する。

○多様な文化を理解し尊重する精神を身につけ、より平和な世界の構築を目指し、主体的に行動することのできる人材を育成する。

○他者に対する敬意と思いやりを持ち、深い知性、健康な身体と豊かな感情をバランスよく備えた人材を育成する。

○問題を多角的な視点から探求し、理性的・論理的に判断することのできる思考力と困難に挑戦する強い意志を備えた人材を育成する。

○多彩な学習経験を通じて多面的な知識を身につけ、常に改善の努力をすることにより、生涯にわたって学び続けることのできる人材を育成する。

沿革

平成 16(2004)年	神奈川県立六ツ川高等学校と神奈川県立外語短期大学付属高等学校の再編統合が決定
平成 20(2008)年	神奈川県立横浜国際高等学校開校
平成 22(2010)年	東京外国語大学と高大連携事業の協定書調印
平成 26(2014)年	文部科学省からスーパーグローバルハイスクール(SGH)に指定される(５年間)
平成 31(2019)年	国際バカロレア機構より国際バカロレア校(ディプロマ・プログラム)に認定される
平成 31(2019)年	国際バカロレア(IB)コース設置
	神奈川県教育委員会より国際バカロレア認定校に指定される
令和３(2021)年	神奈川県教育委員会より学力向上進学重点校エントリー校に指定される

横浜国際高校のめざすもの　School Aims

校長　小河 多香路

横浜国際高等学校は、平成20年(2008年)４月、単位制による全日制・国際情報科として開校し、これまでの間、一貫して、国際教育や語学教育、探究活動を重視した多彩な教育活動を展開してきました。平成 26 年度（2014 年度）には、文部科学省からスーパーグローバルハイスクール(ＳＧＨ)の指定を受け、国内外の教育研究機関と連携し、神奈川のグローバル教育の先進校として、その役割を担ってきました。平成 29 年度(2017 年度)の入学生から「国際科」への学科改編を行い、さらに平成 31 年度(2019 年度)には、国際科の中に、国際バカロレア(ＩＢ)コースを設置し、世界各国で行われているＩＢの 国際教育プログラムを導入しています。また、令和３年度（2021 年度）からの３ヶ年、学力向上進学重点校エントリー校に指定され、本校のこれまでの教育活動をさらに深化させる取組を行っています。

これからも、本校のめざす生徒像「自立した世界市民として日本や国際社会で活躍するリーダー」の育成に向け、高度な英語教育、第二外国語(ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ハングル、アラビア語の６言語)の学習、「総合的な探究の時間」における課題研究、姉妹校交流をはじめとした国際交流活動など、本校の特色ある教育活動をさらに充実させていきたいと考えています。さらに、ＩＢコースでは、平和な世界を築くことに貢献する探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成をめざした教育プログラムを展開し、国際的に認められる大学入学資格・ディプロマ資格の取得をめざしていきます。

詩人・谷川俊太郎さんに書いていただいた本校校歌の冒頭には「教室に一歩入ると そこはもう地球のどこか」という歌詞があります。横浜国際高等学校の教室に入ると、そこには多様な価値観、多様な考えが集まる世界がみなさんを待っています。本校で学ぶみなさんが、将来のグローバルリーダーをめざし、世界に羽ばたいてくれることを願っています。

教育目標を達成するために

○高度な英語教育

高度な英語力を育成する必修科目と多彩な選択科目を設置し、少人数展開できめ細かい指導を行います。英語の４技能５領域を総合的に伸ばすための機会を授業の中で多数設定しており、また多くのネイティブ講師による学習サポートを設けています。

○第二外国語の学習

国際科の１年次生は、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ハングル、アラビア語の中から全員一つの言語を選択します。国際科の生徒は希望に応じて３年間継続して第二外国語を学習することができます。

○総合的な探究の時間

国際科では、高校３年間で系統的に課題探究を行い、論文作成とプレゼンテーション技術を学びます。本校での探究的な学びを大学入試の総合型選抜にも生かし、国内及び海外の大学に進学した後も研究を続ける卒業生が多くいます。

○特色ある取組

国際科の専門高校であることを生かし、例年多数の行事が行われています。１年次生が全員参加する「English Workshop」では、昨年度はネイティブ講師によるSDGs(持続可能な開発目標)のレッスンや、各国の歴史や文化を学ぶPassport to the Worldなどの活動を３日間実施し、最終日には生徒がポスターセッションを行いました。

サマープログラムでは、夏季休業を活用し生徒が多様な活動を体験的に学ぶプログラムを企画しています。「リーダーシップの授業」、「東京外国語大学訪問」のようなキャリア形成意識の醸成を支援する教科横断型の活動や「YIS英語スピーチコンテスト」、慶応義塾大学 (SFC)との連携企画である「アラビア語合同プレゼンテーション」、「外務省訪問」、「企業訪問」、「能楽体験」、「航空教室」など様々な活動が用意されています。

○国際交流活動

オーストラリア・ドイツ・フランス・スペイン・モロッコ・台湾・韓国に姉妹校があり、交換留学生の受け入れ、訪問など交流を行ってきました。社会情勢を考慮しながら、少しずつ直接交流を復活させ、オンラインも併用して交流活動を実施しています。

教育課程

必履修科目 Compulsory subjects

現代の国語②
Contemporary Japanese Language

言語文化②
Language Culture

地理総合② Geography

歴史総合②
Modern and Contemporary History

公共② Public

数学Ⅰ② Mathematics Ⅰ

物理基礎② Basic Physics
化学基礎② Basic Chemistry
生物基礎② Basic Biology

体育⑦ Physical Education
保健② Health

家庭基礎②
Basic Home Economics

情報Ⅰ② Information Study Ⅰ

総合英語Ⅰ③
Comprehensive English Ⅰ
ディベート・ディスカッションⅠ②
Debate and Discussion Ⅰ

総合的な探究の時間
Period for Inquiry-Based Cross-Disciplinary Study
ＳＲ① Subject Research
ＰＲ① Project Research
ＤＲ① Discussion and Research

※①、②、③、④は単位数

選択必履修科目 Elective compulsory subjects

論理国語α④
Japanese Language (Logic) α
古典探究④
Advanced Classics
※どちらか１科目選択

音楽Ⅰ② Music Ⅰ
美術Ⅰ② Art and Design Ⅰ
書道Ⅰ② Calligraphy Ⅰ
※１科目選択

ドイツ語Ⅰ③ German Ⅰ
フランス語Ⅰ③ French Ⅰ
スペイン語Ⅰ③ Spanish Ⅰ
中国語Ⅰ③ Chinese Ⅰ
ハングルⅠ③ Korean Ⅰ
アラビア語Ⅰ③ Arabic Ⅰ
※６言語から１言語選択

学校指定履修科目 School's compulsory subjects

数学 A② Mathematics A

総合英語Ⅱ④
Comprehensive English Ⅱ

総合英語Ⅲ④
Comprehensive English Ⅲ

ディベート・ディスカッションⅡ②
Debate and Discussion Ⅱ

エッセイライティングⅠ②
Essay Writing Ⅰ

選択科目 Elective subjects

自由選択科目 Optional subjects

論理国語β③
Japanese Language (Logic) β

現代の国語（応用）②
Contemporary Japanese Language (Practical Application)

国語表現②
Japanese Language Expression

古典探究（古文）②
Advanced Classics (Japanese)

言語文化（漢文）②
Language Culture (Chinese)

日本史探究③
Advanced Japanese History

世界史探究③
Advanced World History

日本史探究（研究）③
Advanced Japanese History (Research)

世界史探究（研究）③
Advanced World History (Research)

政治・経済②
Politics and Economy

数学Ⅱ④ Mathematics Ⅱ
数学Ⅲ③ Mathematics Ⅲ
数学 B② Mathematics B
数学 C② Mathematics C
数学発展② Advanced Mathematics

物理④ Advanced physics
化学④ Advanced Chemistry
生物④ Advanced Biology

専門科目 Other specialized subjects

言語運用能力の向上をめざす専門科目

ドイツ語ⅡA② German ⅡA
ドイツ語ⅡB② German ⅡB
ドイツ語Ⅲ② German Ⅲ
フランス語ⅡA② French ⅡA
フランス語ⅡB② French ⅡB
フランス語Ⅲ② French Ⅲ
スペイン語ⅡA② Spanish ⅡA
スペイン語ⅡB② Spanish ⅡB
スペイン語Ⅲ② Spanish Ⅲ
中国語ⅡA② Chinese ⅡA
中国語ⅡB② Chinese ⅡB
中国語Ⅲ② Chinese Ⅲ
ハングルⅡA② Korean ⅡA
ハングルⅡB② Korean ⅡB
ハングルⅢ② Korean Ⅲ
アラビア語ⅡA② Arabic ⅡA
アラビア語ⅡB② Arabic ⅡB
アラビア語Ⅲ② Arabic Ⅲ

文化の側面に焦点を当てて学ぶ専門科目

総合英語Ⅰ（語法）②
Comprehensive English Ⅰ (Usage)
総合英語Ⅰ（アカデミック）②
Comprehensive English Ⅰ (Academic)
エッセイライティングⅠ（語法研究）②
Essay Writing Ⅰ (Usage Research)
総合英語Ⅱ（アカデミック）②
Comprehensive English Ⅱ (Academic)
ディベート・ディスカッションⅠ(スピーチ)②
Debate and Discussion Ⅰ (Speech)
イングリッシュ スルー メディア②
English through Media
サイトリーディング②
Sight Translation Reading
小学校英語活動②
English Communication Activities with Children

国際社会の課題解決を探究する専門科目

国際理解② International Understanding
国際食文化②
Food Culture around the World
言語文化研究②
Language, Society and Culture
時事問題研究②
Advanced Current Issues in English

科目履修の例

本校では、自分の興味・関心、進路希望などによって授業を選ぶことができます。卒業後に進学を希望する大学や学部等により、科目履修のパターンはさまざまです。ここでは進路希望別の履修の一例を紹介します。皆さん自身がどのように勉強していくかをイメージするのに役立ててください。　※下表太枠内は選択する科目です

1年次：多くの科目が必履修科目です。芸術は音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道Ⅰから選択し、第二外国語Ⅰはドイツ語Ⅰ・フランス語Ⅰ・スペイン語Ⅰ・中国語Ⅰ・ハングルⅠ・アラビア語Ⅰから選択します。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
現代の国語		言語文化		地理総合		歴史総合		数学Ⅰ		数学A		物理基礎		化学基礎		保健	体育		情報Ⅰ		総合英語Ⅰ			ディベート・ディスカッションⅠ		総合SR	芸術Ⅰ		第二外国語Ⅰ		

2年次：16単位分を全員共通の授業として履修し、受験型に応じた選択科目を履修します。

受験型	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
国公立文系	公共		生物基礎		体育		保健	家庭基礎		総合英語Ⅱ				エッセイライティングⅠ		総合PR	古典探究				世界史探究 日本史探究				数学Ⅱ			国際理解		総合英語Ⅰ(アカデミック)(語法)		
私立文系																									第二外国語ⅡB		イングリッシュスルーメディア					
国公立理系																	古典探究				化学				数学Ⅱ				数学B		第二外国語ⅡA	
私立理系																	論理国語α															

3年次：10単位分が全員共通です。多くの科目を受験型に応じて選択して履修します。

受験型	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
国公立文系	体育			総合英語Ⅲ				ディベート・ディスカッションⅡ		総合DR	世界史探究(研究)				論理国語β			古典探究(古文)		言語文化(漢文)		現代の国語(応用)		国語表現		政治・経済		エッセイライティングⅠ(語法研究)		サイトラリーディング	
私立文系																								小学校英語活動		総合英語Ⅱ(アカデミック)					
国公立理系											日本史探究(研究)											ディベート・ディスカッションⅡ(スピーチ)						言語文化研究		第二外国語Ⅲ	
私立理系																								イングリッシュスルーメディア		時事問題研究					

国公立文系：横浜市立大学などの国公立文系学部、６教科８科目型受験をめざす場合の履修例
私立文系：早稲田大学、慶應義塾大学、上智大学などの私立大学文系学部をめざす場合の履修例
国公立理系：国公立理系学部をめざす場合の履修例
私立理系：私立理系学部をめざす場合の履修例

○英語の専門科目

一般的な学校で必履修科目として設定されている「英語コミュニケーションⅠ」の代わりに、１年次の必履修科目として英語の専門科目である「総合英語Ⅰ」および「ディベート・ディスカッションⅠ」を設定しています。文章を読み、意見を発表する、プレゼンテーションをするなどの活動を行うことにより、相手に分かりやすく自己表現する力を身につけます。学校指定履修科目として２年次の「総合英語Ⅱ」および「エッセイライティングⅠ」、３年次の「総合英語Ⅲ」および「ディベート・ディスカッションⅡ」を履修することにより、継続的に英語理解力、コミュニケーション能力の向上を図ります。

○英語以外の第二外国語

ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ハングル、アラビア語の6言語から選択できます。1年次に全員この中から第二外国語Ⅰの科目をひとつ選択します。2年次で第二外国語Ⅱ、3年次では第二外国語Ⅲの科目と学習を深め、高度な表現力を身につけることができます。また3年次には言語に関係する文化の側面に焦点を当てた、「言語文化研究」という授業が各第二外国語に設置されています。

高度な外国語教育と国際交流

○高度な英語教育

英語に関して高度な必修科目と多彩な選択科目を設置し、少人数展開できめ細かい指導を行います。本校には指導経験豊富なネイティブ講師が多く配置されており、英語の4技能５領域を総合的に伸ばすための機会が授業内に多数設定されています。英語で書かれた文を読み、ペア・グループワークでの意見交換やプレゼンテーションを多く行うことで、内容を深めていきます。本校では、民間の英語4技能試験への準備の機会を提供する観点からも、生徒全員が毎年継続して英語外部試験（TOEFL-ITP）を受験します。CEFR（語学力のレベルを示す国際標準規格）において、B1/B2レベル以上を本校3年次生の到達目標とし、カリキュラムを設計しています。

ネイティブ講師による English Workshop

○第二外国語の学習

１年次生はドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ハングル、アラビア語の中から全員一つの言語を選択します。国際科の生徒は、希望に応じて3年間継続して第二外国語を学習することができます。どの言語もネイティブの講師による授業が行われ、毎年多数の生徒がコンテストや検定試験の受験などにチャレンジし確実な実績を挙げています。また、言語の習得にとどまらず、言語が使用される各国の歴史や文化、社会などの理解にも力を入れた学習を展開しています。

小学生に英語を指導する小学校英語

○国際交流活動

コロナ禍により実際の交流活動ができなかった期間は各姉妹校等とオンラインでの交流を実施しました。規制緩和にともない今年３～５月にかけてフランス姉妹校との個人交換留学を実施しました（訪問３週間、受入３週間）。姉妹校交流では来年１月に韓国姉妹校の受入れ、３月にはオーストラリアと台湾の姉妹校訪問を予定しています。また今年４月からタイの留学生を受入れており、ＹＩＳ生との交流を深めています。

台湾姉妹校とのオンライン交流会

○スピーチコンテストでの受賞（一部抜粋）

〈英語〉
- 全国高等学校英語スピーチコンテスト　準優勝
- 関東甲信越高等学校英語スピーチコンテスト　最優秀賞
- 神奈川県高等学校英語スピーチコンテスト　最優秀賞
- 第 71 回チャーチル杯争奪全日本高等学校学生英語弁論大会
  全国本選出場

〈ドイツ語〉
- 国際ドイツ語オリンピック 2022 国内予選　第１位
- 第 24 回全国高校生ドイツ語スピーチコンテスト・第２部
  プレゼンテーション部門　第１位最優秀賞
  第３位獨協大学学長賞

〈フランス語〉
- 第 17 回東日本高校生フランス語スケッチコンクール
  第３位（日本フランス語教育学会賞）・審査員特別賞
- 第 11 回東日本高校生フランス語暗唱コンクール
  第４位・第７位

〈スペイン語〉
- 第 19 回エクステンション高校生スペイン語スピーチコンテスト
  アルビネス部門　第２位
- 第３回高校生スペイン語スピーチコンテスト(清泉女子大学
  スペイン語スペイン文学科主催)　第１部門　第１位・第３位

〈中国語〉
- 第 40 回全日本中国語スピーチコンテスト神奈川大会
  朗読部門　最優秀賞
- 第 28 回高校生中国語発表大会（関東地区）
  暗唱部門　最優秀賞

岸茉莉(2022年度卒業)　慶應義塾大学法学部政治学科

私が学んできた第二外国語はアラビア語です。好奇心で選んだ言語でしたが、アラブ・イスラーム世界の考え方に惹かれ３年間履修しました。YISではただ言語を学ぶのではなく、言語を通してその地域の文化や時事、事象への理解も深められます。今漠然と国際的なことを学びたい！と考えている人でも、YIS での第二外国語やその他のユニークな授業がきっかけで熱中できるものが見つかるかもしれません。当時は漠然としていた私も、中東の内戦や難民問題に強い関心を抱き、３年間探究活動を行ってきました。

卒業後は、政治学的な視点から欧州と中東間の難民問題について研究したいと考え、国際関係論とアラビア語を学べる大学を視野に入れました。特に慶應の法学部政治学科は政治学の授業だけでなく、イスラーム関連の歴史学や国際法を扱う授業、移民・難民に焦点を当てたゼミも開講されているため志望しました。

弘茂由子（在校生３年次）

私は第二外国語としてドイツ語を学んでいます。授業にはネイティブの先生もいらっしゃるので、より自然な言葉を学ぶことが出来るのはもちろん、文化や歴史といったドイツの様々なことについて詳しく知ることが出来ます。私は環境への取り組みに関心があり、特にエネルギー事情について興味があります。また、日々の学習の成果を検定試験やコンテストで発揮することができ、ドイツ語の学びがいを感じています。私はこの先ももっとドイツ語の学びを深め、大学ではドイツ語を専門的に学んでドイツに留学することを考えています。そして、高校と大学でのドイツ語の学びを生かして、将来はドイツのエネルギーに携わる研究と仕事をしたいです。

総合的な探究の時間

○国際科の「課題研究」とは？

本校は、平成26年度に、文部科学省からＳＧＨ（スーパーグローバルハイスクール）の指定を受け、高校３年間における系統的な課題探究プログラム（SR／PR／DR）を開発しました。５年間の指定終了後も、ＳＧＨ事業で得た研究成果を深化させ、教科を横断する探究的な学びを実施しており、国際科の大きな特徴となっています。

１年次
SR (Subject Research)

講演会やワークショップを通して研究テーマを設定し、先行研究をブックレポートにまとめ、研究計画書を作成します。

２年次
PR (Project Research)

1年次で設定したテーマに基づき、8,000字の日本語による論文を執筆し、日本語で論文の要旨をプレゼンテーションします。

３年次
DR（Discussion and Research）

２年次までの研究成果を深め､1,200語の英語による論文を執筆し、英語で論文の要旨をプレゼンテーションします。

SR 講演会（１年次）

昨年度は慶應義塾大学SFC研究所上席研究員、東京大学大学院博士課程の院生を招き、リサーチクエスチョンの立て方、研究活動の進め方について、少人数毎の講演会を実施しました。

○リサーチクエスチョンの例

- なぜ横須賀は他地域への認知度が上がらず、活性化が進まないのだろうか？
- 宗教対立を克服することは可能か？
- 日本で同性婚を法制化する場合に浮上する課題とは？
  －他国との比較を通し考察する－

鳥羽樹来(2022年度卒業)　国際基督教大学教養学部

私はSR、PR、DRを通して、外国に繋がるこどもについて調べました。調査のために日本語教室でボランティアを行い、現場ではどのようなことが求められているかなど自分の目で確認し、論文を仕上げました。日本語教室で日本語を子どもたちに教えた経験から日本語教師になりたいと考え、日本語教員養成プログラムがある大学に進学しました。実際に DR での調査は進路決定だけでなく、総合型選抜にも役立ちました。ボランティア経験を通して自分の学びたい分野に関わり、論文を作成した経験は合格に大きく影響したと思います。大学進学後はDRの内容を発展させて、より専門的な学びを深めたいです。

鈴木仁那(2022年度卒業)
立教大学社会学部現代文化学科

私は SR・PR・DR を通して異文化理解の入り口に食を利用することについて、特にハラルフードに焦点を当てて研究を進めました。初めはどのように進めれば良いのかわからなかった研究活動も、先生方に書籍を薦めていただいたりまとめ方のアドバイスをいただき、楽しみながら３年間続けることができました。研究の中で明らかになった矛盾点や食文化の有効性についてさらに研究を深めたいと思い、現在の大学学部学科に進学を決めました。YIS での研究活動は大学進学において YIS 生にしかない強みになることはもちろん、自分の将来や今後やりたいことについて考えるとても良い時間になったと感じています。

国際バカロレア

○国際バカロレアとは

国際バカロレア (International Baccalaureate：IB)とは、1960年代にスイスで開発された、世界各国の学校で導入されている教育プログラムです。IBは、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的とした「全人教育」です。

○国際バカロレアの理念

国際バカロレアは、上記の「全人教育」の目的のため、学校や政府、国際機関と協力しながら、チャレンジに満ちた国際教育プログラムと厳格な評価の仕組みの開発に取り組んでいます。

IBのプログラムは、世界各地で学ぶ児童生徒に、人がもつ違いを違いとして理解し、自分と異なる考えの人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることのできる人として、生涯にわたって積極的に、そして共感する心をもって学び続けるよう働きかけています。

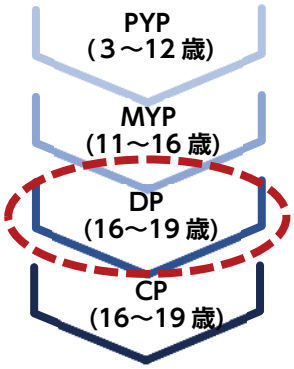
○国際バカロレアの学習者像

「IBの学習者像」は、「IBの使命」を具体化したもので、「国際的な視野をもつとはどういうことか」という問いに対するIBの学習の取組みの中核を担っています。具体的には、IB認定校が価値を置く人間性を、右の10の人物像として表しています。

国際バカロレアコースが目指すもの

○ディプロマ・プログラム

本校の国際科国際バカロレアコースでは、IBの教育プログラムのうち16歳～19歳を対象とするディプロマ・プログラム(DP)を導入しています。DPは国際的に認められている大学入学資格(IBディプロマ資格)を付与する目的で、高度で充実した教育プログラムを実施するものです。



○デュアル・ランゲージ・ディプロマ・プログラム（DLDP）

国際バカロレアコースは、デュアル・ランゲージ・ディプロマ・プログラム(DLDP:日本語DP)です。DLDPはDP科目の一部を日本語で実施します。本校では、DP科目のうち英語と数学を英語で実施し、他の教科は日本語で実施します。

DLDPで取得したDP資格は英語DP等と同様の評価を受けることとなります。

日本語で実施

Group 1	Group 3	Group 4	Group 6
日本語 A	歴史	生物/物理/化学	音楽

英語で実施

Group 1	Group2	Group 5
English A	English B	Mathematics

○高等学校卒業資格と IB ディプロマ資格

国際バカロレアコースのカリキュラムは、高等学校学習指導要領と IB が定める教育内容等の両方を満たしています。必要な科目を履修して所定の単位を修得し、高等学校卒業資格を取得します。学校内の評価及び IB による評価(世界共通の統一試験等の結果)が IB の基準を満たすと IB ディプロマ資格が付与されます。

国際バカロレアコースのカリキュラム

○年次履修科目

1 年次は、高等学校学習指導要領の定める必履修科目を中心に学習します。2・3 年次は、IB のカリキュラムに対応したディプロマ・プログラム科目(DP科目)を中心に学習します。なおDP科目は1年次の1月から履修します。

年次	履修科目
1 年次（4～12 月）	言語文化、公共、地理総合、数学Ⅰ、科学と人間生活、体育、保健、音楽Ⅰ、ディベート・ディスカッションⅠ、アカデミックライティング/英語以外の外国語※、総合的な探究の時間、LHR
1 年次（1～3 月）	体育、保健、アカデミックライティング/英語以外の外国語※、LHR、DP 科目(「コア」を含む)
2 年次	体育、保健、家庭基礎、IB 課題論文、LHR、DP 科目(「コア」を含む)
3 年次	体育、情報Ⅰ、IB 課題論文、LHR、DP 科目(「コア」を含む)

※ドイツ語Ⅰ・フランス語Ⅰ・スペイン語Ⅰ・中国語Ⅰ・ハングルⅠ・アラビア語Ⅰより選択

○DP 科目６科目　自分で教科横断型の学びをデザインする

DPでは、幅広い学習分野を同時並行で学びます。授業では生徒同士の議論、調査、実験、検証、プレゼンテーションなどの活動が多く行われるため、授業以外での準備も必要になります。また、学習量が多くなり、大学での学びに備えた準備をより効果的に行うことができます。６つのグループから1科目ずつ選択し、2年間取り組みます。グループ６の音楽Ⅰはグループ4の化学に代替することもできます。SL(標準レベル）3科目、HL（上級レベル）3科目を履修します。

※SL：６単位 / HL：10単位

グループ名	履修科目	使用言語
グループ 1 言語と文学（母語）	日本語 A (SL/HL)、English A (SL/HL)：人間や社会の本質に読者を開く、文学性の高い作品（小説、戯曲、詩など）を批評することは、自己と世界を捉えなおすきっかけになります。また、文学作品以外にも、新聞記事やポスター、ブログなど幅広い素材を取り上げ、多角的に分析します。クラスメイトとディスカッションしながら解釈・考察をつくりあげていく喜びを一緒に味わいましょう。	日本語（日本語 A）英語（English A）
グループ 2 言語習得（外国語）	English B (SL/HL) ：In English A (Group 1) and English B (Group 2), all communication (reading, writing, listening, and speaking) is done in English. Attitude toward learning English is the key to academic success. English teachers (native English speakers for English A and non-native English speakers for English B) provide a variety of opportunities to develop international mindedness and language skills.	英語（English B）
グループ 3 個人と社会	歴史(SL/HL)：「考えるということは直面し抵抗することである」という言葉があります。社会は無数の事実の連関から織りなされます。しかしある社会的「事実」が事実であるとは、また「事実」と別の「事実」の間に“関係がある”とはどうして判断できるのでしょうか。グループ３では、歴史的な史資料や概念を用いながら、我々の社会構造がいかに構造化され、ないし個別化されているのかを、学術的に探究しながら、物事に「直面し抵抗する」難しさと楽しさを学びます。	日本語
グループ 4 理科	物理(HL)、化学(SL/HL)、生物(SL/HL)：私たちの世界は全て物質でできています。ずっと昔から人間はこの世界の物質や自然現象についての「なぜ？」を探究し続けてきました。科学とは何でしょうか。グループ4の授業では物理学、化学、生物学の各分野から様々な「なぜ？」に答えようとすることで科学の本質（Nature of Science）に迫ります。	日本語
グループ 5 数学	Analysis and approaches(SL/HL)：数学の授業では、生徒たちが協力して例題や演習問題を解説するなど、生徒同士が協働で学び合う授業を実践しています。この形式で数学を学んだ生徒からは、「より深く理解でき、知識の定着が実感できる」と大変好評です。	英語
グループ 6 芸術または選択科目	音楽(SL)：音楽理論を身につけ、作曲編曲など、自分の手で作品を創り出す喜びを味わいます。また、器楽や声楽の演奏を通し、表現活動に取り組みます。そのため楽器経験は必須です（ピアノの場合、ドビュッシー「月の光」程度）。自分やクラスメイトの作品を分析し、音楽とは、表現とは何かを探っていきます。　※代わりにグループ４から化学を選択することができます。	日本語

○DP科目必修要件「コア」　分析的な思考と学びの基礎を作る

〈知の理論〉TOK：Theory of Knowledge

自分が「知っている」ことと、他者が「知っている」こととはどのように違うのでしょうか。またその違いにより、社会にどのような状況が発生するのでしょうか。この科目では、「知識」とはどのようなものかを分析し、それがどのように構築されているのかを探究していきます。プレゼンテーションと論文提出により、学習の成果を表現します。

ＴＯＫの問いの例

・議論の余地がある主張とそうでない主張を、私たちはどのように区別しているのか。
・知識によっては、倫理的な理由から追及されるべきでないものがあるのだろうか。
・「問いかけることのできない答えをもつよりも、答えることのできない問いかけをもつ」ほうが良いことなのか。

〈創造性・活動・奉仕〉CAS：Creativity / Activity / Service

芸術などアイデアを探究し作品やパフォーマンスを創造する活動(Creativity)、健康的なライフスタイルを身につけるための身体的活動(Activity)、コミュニティのニーズを見つけ、他者とともに共同で活動し、相互扶助に取り組む活動(Service)の3種類の体験的な学習に取り組みます。自分の長所や今後成長が求められる分野を認識する機会にもなります。

ＣＡＳの例

・校舎周辺の植物を調べ図鑑にまとめる。
・地域の市民の森での活動を通して自然保護を行う。
・書物や動画などからヨガの知識を得て実践・体験する。

〈課題論文〉EE：Extended Essay

生徒各自が、履修しているDP科目に関連した研究分野について特に興味のあるトピックを１つ選び、個人研究に取り組みます。また、研究成果を日本語で 8,000 字（または英語で 4,000 語）までの論文にまとめます。

大学での探究的な学びに必要とされるリサーチスキルや記述力を身につけることができる科目です。

課題論文のタイトルの例

・物体が水に飛び込む際の高さは水面衝突で受ける力の大きさや到達する水深とどのような関係があるのか。
・Did the declaration of a state of emergency really reduce the people-flow, and how did the changes relate to the number of new-infected?
・How and why does Carson explore the idea of “death” differently in her two works “Silent Spring” and “Under the Sea-Wind”?

高橋明里（在校生３年次）

高校に入学してから、私の中での世界は大きく広がりました。一年の夏にクサフグの産卵について、クラスメイトと調査し、YCU理科自由研究動画大賞2021に応募したところ、高校生・一般部門でフィールドワーク賞をとったことで、やってみれば意外とできるかも！?と勇気づけられ、様々な活動を積極的に行うようになりました。二年の夏にはモンゴルへ行き、現地の方々と一緒にボランティア活動をしました。IB生は多忙で余裕がないと思われがちですが、そんなことはありません。YISは先生方のサポートも手厚く、関心を持ったことをとことん追求出来る理想的な環境です。現在は、東北大学の「科学者の卵養成講座」の選考を通過し、月に一度、東北大学で講義を受けています。これらの経験を生かし、自身のさらなる成長につなげていきたいです。

パルメリ　メイリ(2021年度卒業)スタンフォード大学（U.S. Presidential Scholars Program）に選出

IBの授業を通して、自分の意思決定の過程が変わりました。両親やメディアの見方から自立し、自身の信念をもちながらも事実をできる限り客観的にとらえ、それをもとに自分なりに意見を形成するようになったと思います。同時に、異なる信念や経験、知識をもつ人の考えの違いを受け入れ、その人の立場になって物事を考えることもできるようになりました。自分の意見を持てるようになったことでの一番の変化は、自身のリーダー性が向上したことだと感じています。以前はただ周りの人の意見に合わせることが多かったように思いますが、IBでの3年間の学びを通し、「世の中が必要としていること」を考え、「自分ができること」を見つめ、その一致点を自ら探究し、行動する力。そして、その考えに賛同してくれる人との協働する力を培うことができたと感じています。

学校施設・標準服

自習室
授業のない時間や放課後の自学自習に多くの生徒が活用しています。

ウォーターサーバー
SDGs の観点からペットボトルの使用減少のためマイボトルの利用を推進。

BYOD 環境
全教室に BYOD 環境を整備し、個人端末を活用した授業を展開しています。

個人用ロッカー
生徒昇降口と各教室に生徒全員の個人用ロッカーを配置しています。

CALL 教室
外国語の４技能の育成のため、CALL 教室を２か所配置しています。

ガイダンスルーム
難関大学を中心に多くの過去問を整備し、生徒の進路実現をバックアップ。

ＹＩＳホール
220 名収容可能のホール。外部講師を招いた講演会などで日常的に活用。

新棟（ＩＢ棟）
国際バカロレア(IB)コースの授業などのために令和２年度に新棟を建設。

ステンドグラス
本校は、新棟以外は正方形の校舎が３棟、対角線状に連なる構造です。各棟の１・２階部はステンドグラスが配され吹き抜けになっており、大変開放的な造りになっています。

標準服
「OLIVE des OLIVE」のブレザーを標準服として採用しています。スカート、スラックス、ワイシャツなどについては学びの場にふさわしいものを自分で選択し、着用するように指導しています。生徒は自分で考え、外部講師を招いた講演会などで標準服を着用します。

その他の設備

国際交流ホール： 最大 160 名を収容可能なホール。備え付けのプロジェクタや音響機器も整備されており、年次全体の講習や日常の授業などでも活用されています。ワークショップ形式で行われているリーダーシップ講習などでも使用しています。

セミナー教室： ８教室あり、外国語を中心に 10 名程度の少人数授業の展開に活用しています。

コンピュータ室： ２教室あり、１教室は可動式の机・椅子を配置し、１年次の English Workshop などグループワークを用いた授業などに活用されています。

学校行事

※赤色は、国際バカロレアコース特有の行事です。

4月	• 入学式 • 対面式 • 新入生オリエンテーション • ＤＰオリエンテーション
5月	• 社会見学 • 生徒会役員選挙 • 新入生歓迎会 • 前期中間試験
6月	• 進路説明会 • 球技大会
7月	• 前期期末試験 • ＣＡＳ面談 • サマープログラム • 夏期講習
8月	• サマープログラム • 夏期講習
9月	• ＹＩＳ英語スピーチコンテスト • ＹＩＳフェスタ（文化祭）
10月	• ＩＢ最終試験 • ＳＲブックレポート発表会
11月	• ＩＢ最終試験 • 後期中間試験 • 地域貢献デー　・ＤＲ発表会 • ＤＩＧ研修会
12月	• 地域貢献デー　・ＤＲ発表会 • 修学旅行
1月	• 韓国姉妹校来校（令和５年度） • 大学入学共通テスト
2月	• １年次ＳＲテーマレポート提出 • 後期期末試験
3月	• 卒業式　・ディプロマ授与式 • ＰＲ発表会　・球技大会 • 台湾・オーストラリア姉妹校訪問予定（令和５年度）

球技大会（６月）

サマープログラム「航空教室」（７月）

ＹＩＳ英語スピーチコンテスト（９月）

SR ブックレポート発表会（10 月）

PR 発表会（３月）

部活動・同好会・委員会

文化部

吹奏楽部	ボランティア部
軽音楽部	エンターテイメント部
合唱部	フラメンコ部
美術部	競技かるた部
演劇部	インターアクト部
茶道部	模擬国連部
放送部	パントマイム部

運動部

男子サッカー部	バドミントン部
女子サッカー部	チアリーディング部
ラクロス部	陸上競技部
テニス部	弓道部
バスケットボール部	ダンス部

同好会

バレーボール同好会	ＳＤＧｓ同好会
写真同好会	

委員会

図書委員会	保健委員会
環境委員会	国際交流委員会
地域連携委員会	文化祭実行委員会
新入生歓迎委員会	球技大会実行委員会
選挙管理委員会	評議委員会

松永珠緒（在校生３年次：令和４年度生徒会長）

YIS には自分の将来をしっかりと見据え、夢に向けて努力を怠らない人が多いです。私はそれが良い刺激となり自分自身の向上に繋がっていると日々感じています。また様々な個性と多様な価値観を有した先生方・友人と出会えるのが YIS の魅力の一つでもあります。もうすでに将来のことを考えている人も、いない人も YIS で、自分の好きな事、やりたい事、目標などを探してください！YIS には思い描いていることを実現できる環境が整っています。やりたいという気持ちがあれば先生方はもちろん友達もバックアップしてくれます！！まずは YIS でこのパンフレットの教育方針にあるような人材となり世界へ翔び立ちましょう！！

玉置凌大（在校生３年次：令和４年度文化祭実行委員長）

YIS 祭では実行委員長として自覚を持って安全且つ楽しい YIS 祭の運営に努めました。YIS 祭では「世界・年代」というテーマでこの学校ならではの国際色豊かな展示がたくさんありました。各団体が国を決め、時代を決め、それぞれの特徴を表現することによって学校を歩き回るだけで世界を旅しているような感覚を味わえました。この学校ではこのような国際色豊かな生徒によって生み出されるものがたくさんあります。少しでも世界に興味がある方はぜひ入学をお待ちしております。

石野日向（在校生３年次：陸上競技部）

私たちの学校の部活動は最大週４日という限られた時間しか活動はできないため、自分の思うような結果や活動をするために自律することが求められます。私は陸上競技部で自律することの大切さを学び、毎回の練習を真剣に取り組み、関東大会出場という大きな目標を達成することができました。
また部活動の時間が限られているので、時間に余裕があり勉強や他の自分のやりたい事に取り組むことができます。自分の部活動の目標に向かって取り組みながら勉強などの他のことにも時間をかけることができ、生徒が文武両道で学校生活を過ごせるのが横浜国際高校の部活動の特色です。

進路指導

横浜国際高校では生徒の進路実現に向けた様々な機会があります。各年次の教育とも連携し、本校の学びを生かしていくことができます。

○３年間の系統的な指導（2023年度予定一部抜粋）

	１年次	２年次	３年次
進路説明会	６・１月に２回実施。 ６月に保護者説明会を実施。	５・１月に２回実施。 ６・１月に保護者説明会を実施。	５・11月に２回実施。 ６・11月に保護者説明会を実施。
出願説明会			総合型・学校推薦型・一般選抜の注意点や出願についての説明。
模擬試験	６・10・１月に実施。	６・10・１月に実施。	６（２回）・10・11月に実施。
卒業生による進路講演会	５月に総合型・学校推薦型・一般選抜で進学した卒業生を招いた講演会を実施。		
外国語外部試験	４月にTOEFL-ITPを実施。	４月にTOEFL-ITPを実施。	４月にTOEFL-ITPを実施。
ワークショップ	２月に卒業生を招いた総合型対策講演会を実施。		総合型対策ワークショップを実施。

○本校の進路指導の特色

〈学校で実施する様々な試験〉

スタディーサポート：国際科のみ入学後４月
模擬試験の実施：国際科のみ１年次３回、２年次３回、３年次４回
外国語外部試験（TOEFLなど）：国際科・IBコース共に毎年４月

〈チューター制度〉

１人ひとりの進路をきめ細かく支援するため、担任副担任以外の教員とも希望すれば定期的に面談することができます。

〈模擬面接〉

総合型選抜、学校推薦型選抜の受験予定者に対して３年次夏より、全教員が担当し実施します。英語面接などの対策にも対応しています。

〈カレッジカウンセラー〉

海外進学希望者の相談に乗るための教員を２名設置しています。

〈各種ワークショップ・講演会〉

国内進学、海外進学希望者を対象としたイベントを企画しています。
卒業生を招き、講演会も実施しています。

東京外国語大学に進学した卒業生との交流会

進路希望に応じた個別指導

齋藤陽向(2022年度卒業)　横浜国立大学経済学部

私は、SR・PR・DRで再生可能エネルギー、特に太陽光発電について探究活動を行いました。再生可能エネルギー導入のコストによって、電気代が高騰し、それによって貧困に苦しんでいる人達に悪影響をもたらしていることを知ることが出来ました。その際、SDGsの一つの目標を達成しようとするとき、社会全体におけるバランスを考える必要があることを実感し、経済学に興味を持つきっかけとなりました。横浜国際高校の英語の授業は非常にレベルが高く、ライティングやスピーキングで自分の意見を表現することに特化した授業が多く、自分の英作文の学習に学校の授業が本当に役に立ったと思っています。

小林碧(2022年度卒業)　ソウル大学

DRでは韓日関係を改善するための研究をしました。探究活動を通して、日本の教育では韓国について知る機会が少ないことに気が付き、それなら自分が世界に出ていくしかない！と思い、韓国の大学に進学することを決心しました。YISの国際色豊かな授業と国際的なイベントは、海外進学したい人にとって強みになります。私自身、YISに通っていたからこそ韓国の大学に合格できたのだと思います。もちろん、コロナの影響でできることも限られていたのですが、授業やスピーチコンテストに積極的に参加することで、海外で生活し授業を受ける自信がつき、また、出願書類などで国際的な体験をしたとPRすることができました。大学でも様々なことを体験し、自分をPRする土台にしていきたいと思います。

国際科　2022年度卒業生　合格状況（主な大学）

大学名（国公立）	現役生	既卒生
千葉大学	1	
東京外国語大学	2	
横浜国立大学	2	
横浜市立大学	9	
国際教養大学	3	
東京都立大学	1	

大学名（私立）	現役生	既卒生
青山学院大学	9	1
学習院大学	5	
神奈川大学	9	1
鎌倉女子大学	2	
関西学院大学	2	
慶應義塾大学	11	3
国学院大学	2	
国際基督教大学	5	
駒澤大学	3	
芝浦工業大学	1	
上智大学	17	2
昭和女子大学	3	
成蹊大学	1	
成城大学	2	1
専修大学	6	
多摩美術大学	4	
玉川大学	1	
中央大学	18	2
津田塾大学	4	
帝京大学	3	

大学名（私立）	現役生	既卒生
東海大学	6	
東京女子大学	2	
東京都市大学	1	
東京理科大学	1	
東洋大学	7	
獨協大学	4	
日本大学	6	1
日本女子大学	4	
法政大学	8	2
武蔵大学	3	
武蔵野大学	1	
明治大学	18	1
明治学院大学	10	2
立教大学	19	2
立命館アジア太平洋大学	7	1
和光大学	2	
早稲田大学	11	4

大学名（海外）	現役生	既卒生
University of the Sunshine Coast	1	
University of Wollongong	1	
VGC International College	1	
延世大学	3	
ソウル大学	1	
高麗大学	1	
東亜放送芸術大学	1	
韓国外国語大学	1	
成均館大学	1	

国際バカロレアコース　2022年度卒業生　合格状況（主な大学）

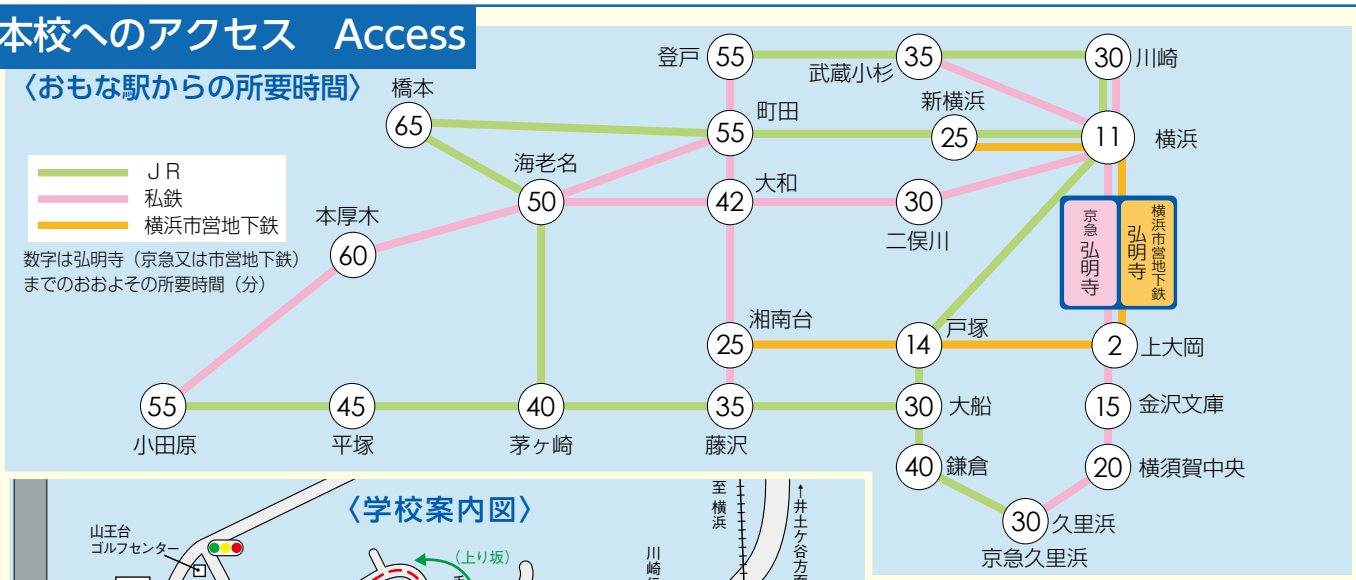
大学名（国公立）	現役生
東京外国語大学	1
横浜市立大学	5
岡山大学	1
鹿児島大学	1
会津大学	1
国際教養大学	1

大学名（私立）	現役生
国際基督教大学	1
上智大学	1
法政大学	1
早稲田大学	1
慶應義塾大学	3
芝浦工業大学	1
立命館アジア太平洋大学	1
明治大学	1
立教大学	1

大学名（海外）	現役生
University of Arizona	1
University of Salford	1
University of Southampton	1
University of Sussex	1
University of York	1
University of Mancheste	1
Queen’s University Belfast	1
Griffin University	1
University of Otago	1
Auckland University of Technology	1
Katholieke Universiteit Leuven	1
University of Queensland	1
Eindhoven University of Technology	1

本校へのアクセス　Access

〈おもな駅からの所要時間〉



〈利用交通機関〉

- 京浜急行弘明寺駅より徒歩 20 分
  又は「弘明寺口」よりバス 5 分
  「大池」下車徒歩 6 分
- 横浜市営地下鉄弘明寺駅より
  徒歩12分「弘明寺口」よりバス 5 分
  「大池」下車徒歩 6 分
- ＪＲ戸塚駅より
  「戸塚駅東口」よりバス 25 分
  「大池」下車徒歩 6 分

□ 学校説明会

7月28日(金)　9：00～ / 11：00～
7月29日(土)　9：00～ / 11：00～
8月19日(土)　9：00～ / 11：00～
10月21日(土)　9：00～ / 11：00～
11月25日(土)　9：00～ / 11：00～
12月 9日(土)　10：00～

※説明会の申込みは HP をご確認ください。

□ 国際バカロレアコース説明会

8月5日(土)　9：00～ / 11：00～

※説明会の申込みは HP をご確認ください。

□YIS 英語スピーチコンテスト

9月2日(土)

※詳細は HP をご確認ください。

□YIS フェスタ(文化祭)

9月22日(金)、23日(土)

※詳細は HP をご確認ください。

□ 公私合同説明・相談会

8月3日(木)

※本校で参加申込はできません。

○ 公私合同説明・相談会以外全て会場は本校です。
○ 新型コロナウイルスの感染拡大状況により変更・中止になる場合もございます。
詳細が決まり次第 HP に掲載いたします。

神奈川県立横浜国際高等学校
〒232-0066　神奈川県横浜市南区六ツ川 1-731
TEL　045(721)1434　　FAX　045(742)9493

横浜国際高校

https://www.pen-kanagawa.ed.jp/yokohamakokusai-h/